

計画（案）修正に係るこれまでの経過

第 1 回審議会（H28.12.6）での主なご意見とその対応

- 県の生産・出荷段階の残留農薬検査検体数が減った理由が知りたい。
→P.19 数値目標に注釈を追加
農薬事故の減少及び衛生部局が流通段階の残農検査を実施しているため縮小
- HACCP 助言に係る食品衛生監視員数を新たな目標値にしているが、定数変更により評価が左右されるため数値の取り方を検討してはどうか。
→P.22 数値目標を人数から割合に変更
- 県版 HACCP が 25→320 施設に増えるプロセスが見えない。企業向け研修などの取組が計画の中に見えない。
→P.22 取組②、P.29 取組③に支援策を追加記載
また、認証制度の変更点について P.29 現状○3 つ目に追加
- 飲食店へのジビエの普及について
→P.23 取組④に鳥獣対策課の取組を追加
- 食中毒事例は事業者にとって食中毒予防に有益な情報であるため、情報提供してほしい。
→P.24 取組②に「具体的な事例」の旨を追加
- 朝食を食べる児童生徒の割合が目標に達していないとのことだが、国の現状値は。
→P.36 国の同学年データがないため、参考値を追加
- 食育推進に係るヘルスメイトの養成が必要ではないか。
→P.37 取組③にその旨を追加
- 「学校給食における地場産物の活用」の数値の取り方は妥当か。
→P.37 数値目標の注釈に出典を追加
- 環境保全型農業が全国トップクラスだということが、県内であまり知られていない。
→P.38 取組②に「県内外に向け」を追加
- 重点取組としてリスクコミュニケーションを挙げているが、目標値が現計画と同じ。
→P.40 開催数を増加。また、テーマの選定について P.11 に記載

意見公募手続（パブリックコメント）を実施

募集期間：平成 29 年 1 月 17 日（火）から平成 29 年 2 月 15 日（水）まで

提出意見数：0 件